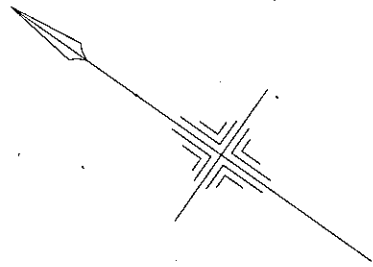
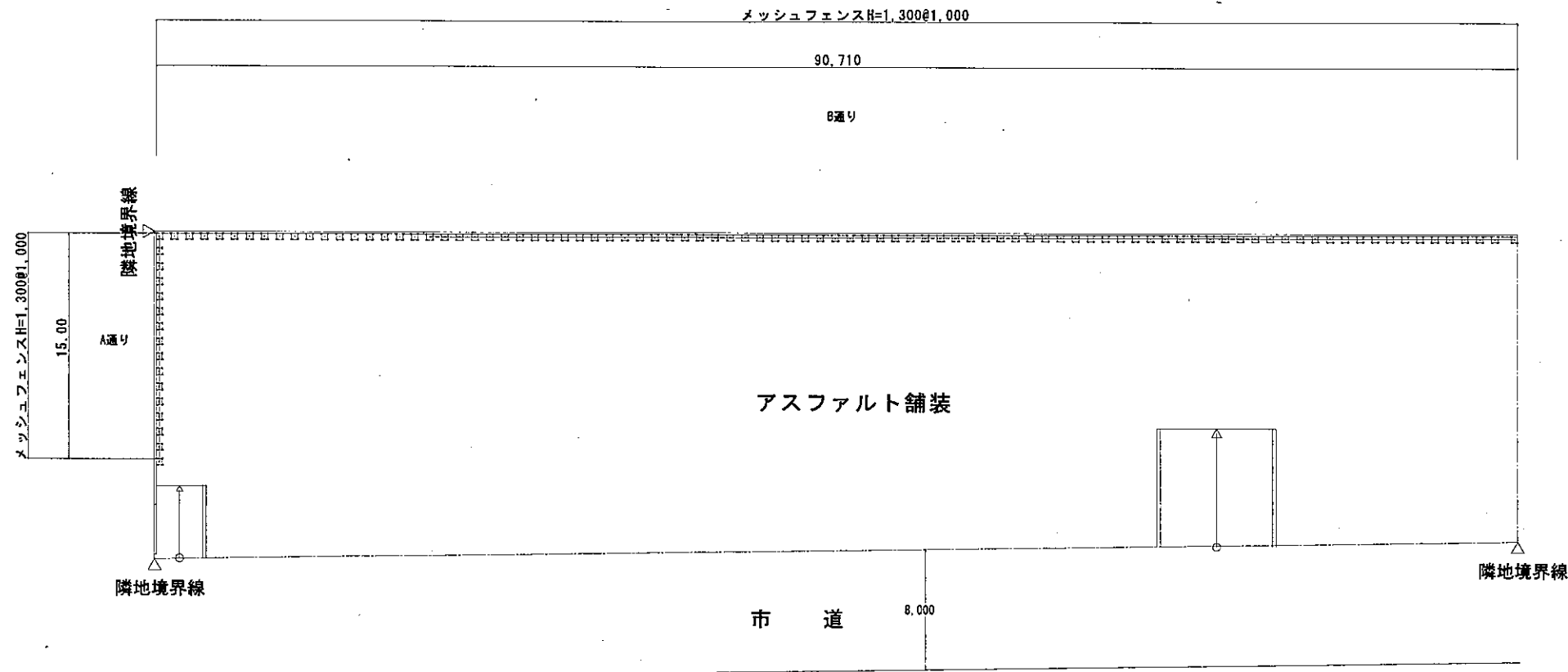


土木工事特記仕様書																																																																																																																					
工 事 概 要																																																																																																																					
工 事 名 称	長岡工業高専(若草2丁目団地)基幹整備（ブロック塀対策）工事																																																																																																																				
工 事 場 所	新潟県長岡市若草2丁目4番地4（長岡工業高専若草2丁目団地内）																																																																																																																				
完 成 期 限	平成31年 3月28日（木曜日）																																																																																																																				
工 事 の 種 類 規 模 等	工作物等  開 闢 105.31 m 新 設 一 式																																																																																																																				
一 般 特 記 事 項																																																																																																																					
総 則	<p>1. この工事の受注者は、独立行政法人国立高等専門学校機構が定める工事請負契約基準、現場説明書、特記仕様書1枚、図面1枚、文部科学省土木工事標準仕様書（平成29年版）、工事数量表、文部科学省土木工事施工管理関係及び工事写真撮影要領に基づき工事を施工する。</p> <p>2. 特記仕様書の適用方法</p> <p>(1) ・印で始まる事項及び表中・印の事項は、○印を付した事項のみ適用する。 (2) で抹消した章及び項目の当該特記事項は、すべて適用しない。 (3) 表中の数字、文字又は記号を記入する事項は、記入してある事項のみ適用する。 (4) 特記された材料、製造所、製品名、施工業者等の取扱いは、特記されたもの又は同等以上のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。 (5) 左欄の（ ）,（ ( ) ), &lt; ,&gt;, &lt;&gt; 内の数値は、下記の各該当番号を示す。</p> <p style="text-align: center;">（ ） : 文部科学省土木工事標準仕様書（平成29年版）</p>																																																																																																																				
<(1-3-3)> =電気保安技術者	<p>この工事現場に下記のいずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。</p> <table border="1"><thead><tr><th>項 目 名</th><th>電 気 保 安 技 術 者</th></tr></thead><tbody><tr><td>第3種電気主任技術者以上の資格を有する者</td><td>-</td></tr><tr><td>2 1級電気工事施工管理技術士の資格を有する者</td><td>-</td></tr><tr><td>3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に相当する法令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者</td><td>-</td></tr><tr><td>4 旧電気工事技術者検定規則による高压電気工事技術者の検定に合格した者</td><td>-</td></tr><tr><td>5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高压試験に合格した者</td><td>-</td></tr><tr><td>6 第1種電気工事士の資格を有する者</td><td>-</td></tr><tr><td>7 2級電気工事施工管理技術士の資格を有する者</td><td>-</td></tr><tr><td>8 第2種電気工事士（旧電気工事士）以上の資格を有する者</td><td>-</td></tr><tr><td>9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者</td><td>-</td></tr></tbody></table>					項 目 名	電 気 保 安 技 術 者	第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	-	2 1級電気工事施工管理技術士の資格を有する者	-	3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に相当する法令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	-	4 旧電気工事技術者検定規則による高压電気工事技術者の検定に合格した者	-	5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高压試験に合格した者	-	6 第1種電気工事士の資格を有する者	-	7 2級電気工事施工管理技術士の資格を有する者	-	8 第2種電気工事士（旧電気工事士）以上の資格を有する者	-	9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	-																																																																																												
項 目 名	電 気 保 安 技 術 者																																																																																																																				
第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	-																																																																																																																				
2 1級電気工事施工管理技術士の資格を有する者	-																																																																																																																				
3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に相当する法令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	-																																																																																																																				
4 旧電気工事技術者検定規則による高压電気工事技術者の検定に合格した者	-																																																																																																																				
5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高压試験に合格した者	-																																																																																																																				
6 第1種電気工事士の資格を有する者	-																																																																																																																				
7 2級電気工事施工管理技術士の資格を有する者	-																																																																																																																				
8 第2種電気工事士（旧電気工事士）以上の資格を有する者	-																																																																																																																				
9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	-																																																																																																																				
<(1-3-4)> =工事用電力設備 の保安責任者: <(1.3.5) 施 工 条 件	<p>この工事現場には、下記の資格を有する工事用電力設備の保安責任者を選任する。</p> <p>この工事現場では、次の施工条件による。</p> <p>○本工事は、陸地境界での施工のため、近隣住民との工程調整が必要となる場合がある。</p> <p>○本工事場所は、学生用駐車場として利用中のため、学生・教職員等への安全等に配慮するとともに、第三者の安全確保に特別の配慮をすること。</p> <p>○騒音・振動・粉塵の発生に伴う予見される作業は、その発生を抑制する工夫を採用すること。</p> <p>やむを得ずそれらの発生に伴う場合には、第三者にその影響を及ぼさない措置を取ること。</p> <p>○行事等のため、作業時間等を規制される場合がある。</p>																																																																																																																				
(1.3.10) 施工中の環境 保 全 等	<p>低 騒 音 型 、 低 振 動 型 建設機械の使用</p> <p>本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規格」（平成9年7月31日建設省告示第1535号 最終改正 平成13年4月9日 国土交通省告示第487号）に基づき国土交通大臣が型式指定を行った低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。ただしこれにより難しい場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。</p>																																																																																																																				
年 度	設計年月	工 事 名 称																																																																																																																			
平成30	平成30年12月	長岡工業高専（若草2丁目団地）基幹整備（ブロック塀対策）工事																																																																																																																			
<p>低騒音型建設機械を使用する場合、現場代理人は施工现场において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。</p> <p>排出ガス対策型建設機械</p> <p>本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」（平成17年法律第51号）に基づく技術基準に適合する機械、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付け建設省経機発第249号）」、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程（平成18年3月17日付け国土交通省告示第348号）」もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領」（平成18年3月17日付け国総策第215号）に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公表課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、もしくは建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を搭載することで、排出ガス対策型機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。</p> <p>排出ガス対策型建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工现场において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。</p> <table border="1"><thead><tr><th>機 種</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>ブルドーザ</td><td>ディーゼルエンジン（エンジン出力8kW以上、560kW以下）を搭載したものに限る。</td></tr><tr><td>バックホウ</td><td></td></tr><tr><td>ホイールローダ</td><td></td></tr><tr><td>ホイールクレーン（ラフテレーンクレーン）</td><td></td></tr><tr><td>ローラ履（ロードローラー、タイヤローラー、振動ローラー）</td><td>ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kW以上、260kW以下）を搭載したものに限る。</td></tr><tr><td>油圧ユニット（基礎工事用機械で独立したもの）</td><td></td></tr><tr><td>空気圧縮機（可搬式）</td><td></td></tr><tr><td>発電電動機（可搬式、滑車継手を含む）</td><td></td></tr></tbody></table> <p>① 受注者は本工事現場で使用し、又は使用される関係車両（以下「本工事関係車両」という。）が、当該工事場所のディーゼル車排出ガス規制条例（以下「排出ガス規制条例」という。）の適用を受けなければならない。</p> <p>② 受注者は、本工事の施工に先立ち、本工事関係車両の「ディーゼル車排出ガス規制」に適合する車両の使用について、排出ガス規制条例の遵守を施工計画書に記載しなければならない。</p> <p>③ 受注者は、本工事関係車両にディーゼル車を使用する場合には、車検証のコピーを保管し、本工事関係車両を把握しなければならない。</p> <p>④ 受注者は、取締りにより本工事関係車両に違法行為があった場合には、直ちに監督職員に報告しなければならない。</p> <p>⑤ 受注者は、資機材の搬出入等において、資材納入者に排出ガス規制条例を遵守させるものとする。</p> <p>(1)引渡しを要するもの</p> <p>(2)特別管理産業廃棄物</p> <p>(3)現場において再利用を図るもの</p> <p>(4)再生資源化を図るもの</p> <p>(5)関係法令に従い適切に処理するもの</p> <p>(1.3.11) 発 生 材 の 処 理 等</p> <p>(1.5.2) 技 能 士</p> <p>下配の工種を施工する場合には、次の資格を有する技能士を選任する。</p> <table border="1"><thead><tr><th>工 種</th><th>技能決定の種類</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>(1.5.4) 一工程の施工の確認及び報告</p> <table border="1"><thead><tr><th>施工の確認及び報告を行う工程</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>(1.5.5) 施 工 の 検 査 等</p> <p>標準仕様書に定めがあるもの以外で、次について監督職員の検査を受ける。</p> <table border="1"><thead><tr><th></th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>(1.5.7) 施工の立会い等</p> <p>標準仕様書に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については、監督職員の立会いを受ける。</p> <table border="1"><thead><tr><th></th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>(1-5-2)= 技—検—査</p> <p>本工事期間中に中間技術検査を、 に 同行する。</p> <p>ただし、工事内容により、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。</p> <p>(1.7.1) 完成時の提出書類</p> <p>①完成図 ・・・保全に関する資料</p> <p>(1.7.2) 完成図</p> <p>完成図の種類及び記入内容は次による。</p> <table border="1"><thead><tr><th>種 別</th><th>記入内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>完成図</td><td>発注図面に決定・変更内容を未登記・訂正したもの及びCADデータ。 CADデータのメディア（提出媒体）については、監督職員との協議による。</td></tr><tr><td>竣工図</td><td>監督職員の指示による。</td></tr></tbody></table> <p>完成図の様式等は次による。</p> <p>作成方法 監督職員の指示による。</p> <p>原図サイズ A1判、A3判 （二つ折り製本）</p> <p>提出部数 2部</p> <p>工事写真帳は（ ○ 紙媒体 ○ 電子媒体 ）で 1 部提出する。</p> <p>完成写真はキャビネットとし黒装綴じ―工事名称等は金文字入りとする― なお、完成写真には撮影方向等を明示した配置図、平面図を添付する。</p> <p>本工事は、次の書類について電子納品の対象とする。</p> <p>○ 工事写真 ○ 完成写真 ○ 完成図</p> <p>貸与する設計図のCADデータ著作権者：長岡工業高等専門学校 ファイル形式：JWW</p> <p>貸与条件：貸与するCADデータを本工事における竣工図又は完成図の作成のために以外に使用しないこと。</p> <p>提出方法：CD-R</p> <p>(1.7.3) 保 全 に 関 す る 資 料</p> <p>保全に関する資料 提出部数 ・・部</p> <p>2章 仮設工事</p> <p>(2.2.1) 盛土・埋戻土</p> <table border="1"><thead><tr><th>材 料 名</th><th>規格・寸法等</th><th>使用工種</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>根切り土</td><td>日産</td><td>基礎工</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>(2.3.7) 基礎材料等</p> <table border="1"><thead><tr><th>材 料 名</th><th>規格・寸法等</th><th>使用工種</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>再生クラッシュラン</td><td>R0-40</td><td>基礎工</td><td>基礎砕石</td></tr></tbody></table> <p>(2.7.2) ネットフェンス</p> <p>本工事に使用するネットフェンスは、次による。</p> <table border="1"><thead><tr><th>材 料 名</th><th>規格・寸法等</th><th>使用工種</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>ネットフェンス</td><td>支柱：アルミ製</td><td>フェンス工</td><td></td></tr></tbody></table> <p>(2.7.3) 金属格子フェンス及び門扉</p> <p>本工事に使用する金属フェンス及び門扉は、次による。</p> <table border="1"><thead><tr><th>材 料 名</th><th>規格・寸法等</th><th>使用工種</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>(2.9.2) 設計基準強度等</p> <p>本工事に使用するコンクリートの設計基準強度等は、次による。</p> <table border="1"><thead><tr><th>最大骨材寸法</th><th>スランプ</th><th>水セメント比</th><th>単位セメント量</th></tr></thead><tbody><tr><td>mm</td><td>cm</td><td>%以下</td><td>kz/m³</td></tr><tr><td></td><td>N</td><td>セメントの種類</td><td>塩化物含有量</td></tr></tbody></table> <p>(2.10.2) セメントコンクリート製品（JIS規格品）</p> <p>本工事に使用するセメントコンクリート製品（JIS規格品）は</p>						機 種	備 考	ブルドーザ	ディーゼルエンジン（エンジン出力8kW以上、560kW以下）を搭載したものに限る。	バックホウ		ホイールローダ		ホイールクレーン（ラフテレーンクレーン）		ローラ履（ロードローラー、タイヤローラー、振動ローラー）	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kW以上、260kW以下）を搭載したものに限る。	油圧ユニット（基礎工事用機械で独立したもの）		空気圧縮機（可搬式）		発電電動機（可搬式、滑車継手を含む）		工 種	技能決定の種類							施工の確認及び報告を行う工程	備 考								備 考								備 考							種 別	記入内容	完成図	発注図面に決定・変更内容を未登記・訂正したもの及びCADデータ。 CADデータのメディア（提出媒体）については、監督職員との協議による。	竣工図	監督職員の指示による。	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考	根切り土	日産	基礎工										材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考	再生クラッシュラン	R0-40	基礎工	基礎砕石	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考	ネットフェンス	支柱：アルミ製	フェンス工		材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考									最大骨材寸法	スランプ	水セメント比	単位セメント量	mm	cm	%以下	kz/m³		N	セメントの種類	塩化物含有量
機 種	備 考																																																																																																																				
ブルドーザ	ディーゼルエンジン（エンジン出力8kW以上、560kW以下）を搭載したものに限る。																																																																																																																				
バックホウ																																																																																																																					
ホイールローダ																																																																																																																					
ホイールクレーン（ラフテレーンクレーン）																																																																																																																					
ローラ履（ロードローラー、タイヤローラー、振動ローラー）	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kW以上、260kW以下）を搭載したものに限る。																																																																																																																				
油圧ユニット（基礎工事用機械で独立したもの）																																																																																																																					
空気圧縮機（可搬式）																																																																																																																					
発電電動機（可搬式、滑車継手を含む）																																																																																																																					
工 種	技能決定の種類																																																																																																																				
施工の確認及び報告を行う工程	備 考																																																																																																																				
	備 考																																																																																																																				
	備 考																																																																																																																				
種 別	記入内容																																																																																																																				
完成図	発注図面に決定・変更内容を未登記・訂正したもの及びCADデータ。 CADデータのメディア（提出媒体）については、監督職員との協議による。																																																																																																																				
竣工図	監督職員の指示による。																																																																																																																				
材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考																																																																																																																		
根切り土	日産	基礎工																																																																																																																			
材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考																																																																																																																		
再生クラッシュラン	R0-40	基礎工	基礎砕石																																																																																																																		
材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考																																																																																																																		
ネットフェンス	支柱：アルミ製	フェンス工																																																																																																																			
材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考																																																																																																																		
最大骨材寸法	スランプ	水セメント比	単位セメント量																																																																																																																		
mm	cm	%以下	kz/m³																																																																																																																		
	N	セメントの種類	塩化物含有量																																																																																																																		

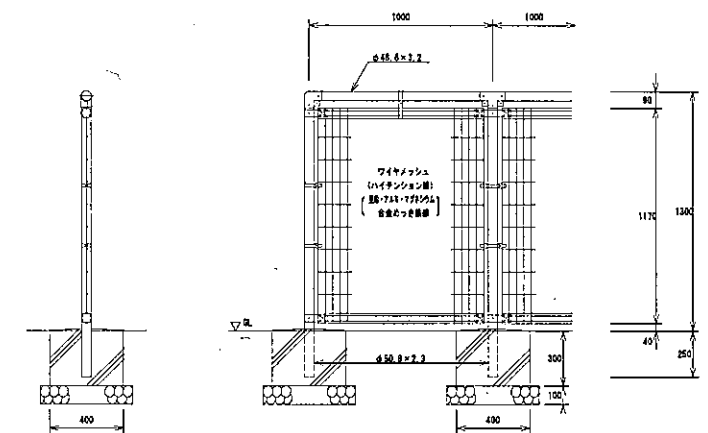


メッシュフェンス（新設）リスト					
通り	種別	長さ(m)	高さ(m)	基礎	基礎寸法
A	メッシュ	15.0	1.3m	独立	400×400(mm)
B	メッシュ	90.31	1.3m	独立	400×400(mm)








配置図 1/200

フェンス（新設）



断面図・立面図 1/20

※基礎の寸法、根入れ深さは参考とする。

年度	設計年月	工事名称	図面名称	縮尺	独立行政法人 国立高等専門学校機構 長岡工業高等専門学校	図面番号
平成30	平成30年12月	長岡工業高専（若草2丁目団地）基幹整備（ブロック塀対策）工事	平面図、断面図	A1:1/200, 1/20 A3:1/400, 1/40	事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当     	1-1